

令和7年度胎内市男女共同参画推進委員検討シート

第3次胎内市男女共同団画プラン21

令和6年度【実施・成果のデータ】【検証】について

- ・ 共通

推進事業の達成度の評価基準があった方がよいと思う。

- ・ p1

男女共同参画推進事業について、8月6日開催講演会の参加者が多く、良かったと思う。男女別の参加者数はどうだったか。

- ・ p1

講演会参加者の年代別内訳で、40代、50代、60代が0%との結果で他の世代の参加者とは偏りがあって残念に思いました。この年代の方々が参加するには時間帯が悪かったのでしょうか？次回からはどの世代でも参加が可能になるように検討をお願いします。

- ・ p8

保育士の研修参加の事業について、園内研修の中で、個々の発達段階に沿った男女平等教育を職員が学び合うことはとても大切なことであると思う。具体的にどのような内容か。

- ・ p9

保育園・こども園における保護者会・学級懇談会について、具体的に男女平等に関する情報提供はどのような内容をどのような場で行ったか。

- ・ p10

保育園・こども園におけるたよりの発行事業について、男女共同参画の視点での保育・教育の様子を載せることが大切だと思うが、掲載のイラスト以外に具体的にどのような内容を載せたか。

- ・ p23

防災士に占める女性割合を増やすことは、災害に対応しうる地域づくりの観点からきわめて意義の高いことだと感じる。女性の割合を増やすには、女性防災士が存在し、活躍することで、いままでになかったどんな視点が加わるのかを説明することが重要だと感じる。

また、実際に防災士として活躍している女性の「生」の声を聞く（情報誌などを通じて）機会が増えれば、気運も高まると感じる。

・ p25

パパママ学級事業について 男性の意識や参画はとても大切である。近年良い傾向があると感じている。参加者の人数はどうだったのか。

・ p27

検証の欄で、ハッピーパートナー企業によるパネル作成に対し、よい取り組みだと思うと検証しており、「今後も継続していきたい」とあるが、ハッピーパートナーの制度廃止に伴い、別の形での取り組みを記述すべきではないか。

・ p32～p34

福祉介護課の取組において、男女共同参画の視点はどのようなものか。

・ p42

事業名の欄に「セミナー等を実施する」とあり、実施・成果のデータの欄では「再就職セミナーは実施していない」と書かれている。これに対し「委員会の評価」欄には「セミナー等を開できないときは、冊子やオンラインに切り替えるなどしてはどうか」と貴重な助言がされている。この助言が反映されなかったのだろうか。貴重な意見だけに、的確に反映する仕組みづくりが必要だと感じる。

・ p51

ハラスメントについて雇用側からも働いてもらうには年々難しくなった。昔とは大きく変わった。との声が開かえています。

令和8年度はセミナーを計画しているようなので是非実行をお願いします。

・ p54～p56

相談窓口について、現在の状況では、SNS でもつながるようにすることが大切だと思う。SNS で相談機関を知るといった状況が多くなっている。

第4次胎内市男女共同参画プラン21
令和7年度【事業名・内容】について

・共通

各担当課が男女共同参画の視点をもって臨むことが大切と思う。令和7年度が終わろうとしています。【事業名・内容】は、7年度当初には決定していることが大切と思う。

・共通

【事業名・内容】が【男女共同参画推進におけるデータ】【検証】ときちんとつながることが大切と思う。

・p39

指標26「男女雇用機会均等法」、指標27「育児・介護休業法」を知っていると回答した人の割合が半数以下なのには驚きました。【事業名・内容】には、各種法制度の周知を図る旨が記載されているようにこれからの取り組みに期待します。

・p49

新潟県は全国でも自殺死亡率が高い県で、特に若い男性が多いようです。胎内市でも白死者が居るとは残念です。「こころの健康」に関して…と記載されていますが、市の相談窓口はどこでしょうか？

・p73

ひきこもり状態にある人数の271人は、年代別、男女別ではどのようなになっていますか。

・p49とp73

どちらも取り組むには難しい事案ですが、一人でも多くの方の解決になれるような支援に期待します。